

高知県

定数：3名

立候補者数：5名



氏名 八坂 一彦
氏名ふりがな やさか かずひこ
都道府県士会 高知県
年齢 45
勤務先名称 高知医療学院

日本理学療法協会活動歴

令和4年6月～現在 日本理学療法士協会 代議員

都道府県理学療法士（協）会活動歴

平成27年6月～現在 高知県理学療法士協会 理事
平成31年2月 第32回高知県理学療法学会 学会長
令和5年6月～現在 高知県理学療法士協会 副会長・事務局長

学会連合及び同連合会員団体活動歴

立候補の趣旨

高知県理学療法士協会の役員として、理事11年目（6期目）、副会長・事務局長3年目（2期目）となりました。これまで、さまざまな課題解決に取り組んでまいりました。また、令和4年より、日本理学療法士協会の代議員も務めております。

今後も、高知県理学療法士協会のさらなる発展のため、代議員として高知県の課題や意向を的確に発信するとともに、日本理学療法士協会との連携強化および均衡のある運営の実現を目指し、尽力してまいりたいと考えております。



氏名 大畑 剛
氏名ふりがな おおはた つよし
都道府県士会 高知県
年齢 57
勤務先名称 愛宕病院

日本理学療法協会活動歴

2007年5月～2013年6月～ 日本理学療法士協会教育研修部部員
2014年4月～2026年3月～ 日本理学療法士協会代議員

都道府県理学療法士（協）会活動歴

2005年6月～2013年6月～ 高知県理学療法士会 理事
2005年6月～2013年6月～ 高知県理学療法士会 学術局長
2013年6月～2023年6月～ 高知県理学療法士協会 副会長
2015年6月～2023年6月～ 高知県理学療法士協会 社会局長
2020年6月～2025年6月～ 高知県理学療法士協会 50周年準備委員長
2023年6月～2026年3月～ 高知県理学療法士協会 会長

学会連合及び同連合会員団体活動歴

立候補の趣旨

伝統ある高知県において、会員の臨床・教育・学術のさらなる充実を図り、ひいては理学療法の素晴らしさを多くの県民の皆様を知っていただける組織づくりに努めてまいります。
また、日本理学療法士協会との連携を一層強化し、認定理学療法士・専門理学療法士の拡充や各種講習会の誘致など、会員サービスの向上と理学療法士の地位向上に向けて取り組んでまいります。



氏名 吉良 健司
氏名ふりがな きら けんじ
都道府県士会 高知県
年齢 55
勤務先名称 在宅りはびり研究所

日本理学療法協会活動歴

2005/04～2009/03	日本理学療法士協会	介護保険部	部員
2009/04～2013/03	日本理学療法士協会	業務推進部	部員
2024/06～現在に至る	日本理学療法士協会	代議員	

都道府県理学療法士（協）会活動歴

学会連合及び同連合会員団体活動歴

立候補の趣旨

私は在宅医療や介護保険分野における職能活動の活性化の視点から、日本理学療法士協会の活動に関して、代議員として関わりたいと考えております。

私は34年目の理学療法士で、医療機関で回復期や急性期を経験後、約30年に渡り在宅分野で仕事をしてきました。具体的には、訪問看護や訪問リハビリテーション、通所リハビリテーションや通所介護などです。

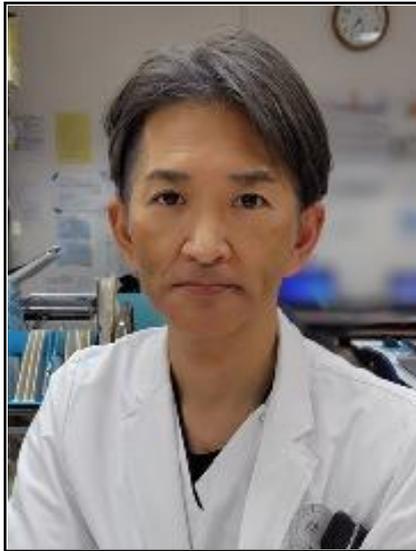
2005年から2013年の8年間、日本理学療法士協会の職能局介護保険部や業務推進部において通所系リハ研修会の企画・運営を通して、人材育成に関わっていました。

2013年からは日本理学療法士協会、日本作業療法士協会、日本言語聴覚士協会が合同で設立した訪問リハビリテーション振興財団の研修班として訪問リハビリテーション、通所リハビリテーションの人材育成研修を3協会の委託を受けて実施してきました。また制度化班では、訪問リハステーションをはじめとする訪問リハビリテーションを中心とした制度要望の作成を裏方として行ってきました。現在もこの2つの役割は継続して担っております。

このように内部あるいは外部から日本理学療法士協会の活動に関わってきた経験から率直に感じているのは、日本理学療法士協会において、在宅や介護保険分野における職能の拡大や人材育成、制度化がバランスよく行われていないことです。

若い世代が在宅や介護保険分野においても安心して臨床に向かえるようなテクニカルスタンダードを作り、細やかに人材育成していく必要があります。また、療法士人口の増加とともに賛同する政治家が増えてきている好機を活かして、大きく制度を動かしていく必要があります。

このような趣旨に基づき、代議員として、日本理学療法士協会に継続的に働きかけていきたいと考えております。



氏名 沖田 学
氏名ふりがな おきたまなぶ
都道府県士会 高知県
年齢 50
勤務先名称 愛宕病院

日本理学療法協会活動歴

都道府県理学療法士（協）会活動歴

2005年～2007年 高知県理学療法士協会 教育研修部 部長

学会連合及び同連合会員団体活動歴

2022年～現在 日本神経理学療法学会 評議委員

立候補の趣旨

日々、臨床の最前線で患者様と向き合う中で、理学療法士を取り巻く環境の変化を肌で感じております。理学療法士が未来に向けて健やかに発展するためには、組織運営の透明性を高め、現場の声を真摯に反映させることが不可欠です。私は以下の4つの姿勢を大切に、高知県会員の皆様代表として務めさせていただきたいと考えています。

1. 責任あるリーダーの選出

：代議員の役割である協会の舵取りを担う役員の選出は、私たちの将来を左右する重責です。一票の重みを深く自覚し、組織の方向性が現場の願いから乖離せぬよう、公平かつ慎重な判断を下します。

2. 丁寧な説明と透明性の確保

：総会での決議に対し、どのような視点で判断したのかを皆様へ分かりやすくお伝えし、対話の機会を大切にします。独りよがりな判断に陥らぬよう常に視野を広げ、皆様が納得できる透明性の高い活動を目指します。

3. 現場の声を届けるパイプ役

：代議員は、一人ひとりの想いを本部に届ける架け橋です。日々の業務で抱える悩みや地域活動の課題を丁寧に吸い上げ、臨床のリアルな視点を協会の施策へと繋いで参ります。

4. 安心・信頼のためのチェック機能

：協会が、常に会員の皆様の方を向いて活動しているかを、しっかりと確認して参ります。私たちの活動を支える大切な組織だからこそ、誰もが安心して研鑽と活動に専念できるよう、誠実に代議員の役割を全うする所存です。

一人でも多くの会員が「この協会に所属していて良かった」と感じられる未来を、皆様と共に歩んでいきます。何卒、温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。



氏名 西村 敦司
氏名ふりがな にしむらあつし
都道府県士会 高知県
年齢 55
勤務先名称 田中整形外科病院

日本理学療法協会活動歴

都道府県理学療法士（協）会活動歴

平成16年度～平成30年度 財務部長
令和元年度～令和4年度 財務部担当理事
令和5年度～令和6年度 代表理事（副会長）社会局長

学会連合及び同連合会員団体活動歴

立候補の趣旨

2025年、日本は団塊の世代が後期高齢者となり国民の5人に1人が高齢者になりました。今後は更に少子高齢化と人口減少が同時に進行する大きな社会的問題を抱えながら、ピークを迎える2040年に向かって突き進んでいます。このような社会において理学療法士の役割はこれまで以上に大きく、多様なものになってきました。今回代議員に立候補した第一の動機は、日本理学療法士協会や高知県理学療法士協会（以下高理協）の施策・方向性が会員に上手く伝わっていないと常々感じており、このような状況を少しでも解決する役割を果たしたいと考えました。代議員総会で討議された内容以外にも、全国の動向や理学療法士として抱える課題や問題、他県の有意義な取り組み（情報）を持ち帰り、県協会員がこれまで以上に発展し、社会に貢献していける様、会員皆さんの行動を促すきっかけ作りを進めていきます。私は平成10年に理学療法士になり、高理協会員として新人教育や各種研修会を受講してきました。年を追う毎に、組織の管理も務め、社会情勢や環境・ライフスタイルの変化に伴い、スタッフの意識が大きく変化していく様子を目の当たりにしてきました。この状況下で理学療法士としてやらねばならない事は次世代の育成です。職場での人材育成はもちろんのこと、協会活動に関わるセラピストを増やしていくことも重要です。これまで以上に幅広く人材を集め、次の世代に引継ぐ役割を担う気持ちです。最後になりますが、長年財務部長・財務部担当理事を務めさせていただいた事でこれまでの高知県理学療法士協会の流れも熟知しているつもりです。この経験を代議員活動に活かしていきたいと考えます。